

海外派遣報告

モンゴル派遣同行記—4年ぶりにモンゴルを訪れて—

センベーノ！（こんにちは）この8月に、岩倉市中学生海外派遣団の引率として1週間モンゴルに同行しました、砂場晃です。

僕にとって、今回が2度目のモンゴルへの訪問です。1度目は丁度4年前、僕が中学校3年生の時に、岩倉市中学生海外派遣団の一員として、モンゴルを訪れています。4年前は海外も初めてで、日本の風景とは全く違うモンゴルの広大な草原、首都の活気ある街並みやホームステイ先の家族を始めとした優しい人達など、目にする物、体験することの全てが驚きと感動に満ちていて、あっという間に1週間が過ぎ去ってしまいましたが、今回は2度目の訪問、そして引率者という立場であり、当時に比べれば視野を広く持ってモンゴルという国と接することができたと思います。



▲変化の著しい首都、ウランバートルの街並

4年ぶりに訪れた首都ウランバートルは、大きく変化していました。煌びやかな高層ビルが立ち並び、大きなショッピングモールも出来ていて、これから建築されようとするビルなどの工事現場をあちこちで見ることができました。こうした光景を見て、今まさに変化しつつある国の一端を覗いたような気がしました。

ただ、変わらないことも多くあり、新モンゴル高校では、僕が中学生海外派遣団と一緒にモンゴルへ行った友達のホストファミリーだったツオモ君と再会しました、相変わらず、温かく僕らを迎えてくれる彼らの優しさに変わりはありませんでした。

また、今回もモンゴルの大草原の只中にある新モンゴル高校のキャンプ場で、新モンゴル高校の生徒と同様にゲルでの生活を体験しました。キャンプ場から見るモンゴルの大草原は、4年前と少しも変わらず圧倒的なスケールで僕を迎えてくれました。首都の発展は著しいものがありますが、一步郊外へ出れば雄大な自然を望むことができるモンゴルの多様性に心を打たれました。（砂場 晃）

ただ、変わらないことも多くあり、新モンゴル

ただ、変わらないことも多くあり、新モンゴル

ただ、変わらないことも多くあり、新モンゴル



懐かしの新モンゴル高校を訪問しました▲

おいしいたい焼きをつくりました

—名古屋芸術大学の留学生も迎えて—

6月2日(土)から3日(日)にかけて、名古屋芸術大学の留学生を迎えてホームステイの受け入れを行いました。

2日(土)、は岩倉本店「米乃家」さんの協力によって、たい焼き作り体験を行いました。初



▲おいしいたい焼が出来ました！

めてのたい焼き作りで生地があふれたり、あんこを床に落とすなどのハプニングもありましたが、みんなで和気あいあい楽しい体験になりました。

3日(日)はそれぞれの家庭でホームステイを楽しみました。

どのゲストも、「ファミリーの方々の温かいおもてなしを受け、日本人の日常生活を体験し、普段の学校生活と違った素敵な時間を過ごせました。是非また会いたいです。」とっていました。ご参加いただいたホスト家族の皆さん本当にありがとうございました。

世界のお惣菜～ブラジル料理を教わりました～

7月14日(土)に、生涯学習センターの料理室で世界のお惣菜を開催し、大人21人、子ども7人の計28人が参加しました。



暑い日が続く中、夏バテ解消にぴったりのニンニクやビネガーを使ったブラジルの料理を、岩倉在住のハナワ・アンドレアさんを講師に迎え教わりました。

作った料理はフランゴ・コン・キュアボ(チキンとオクラの煮込み)、ピナグレッジ・サラダ(ブラジル風サラダ)、アホステンペラード(ニンニクライス)、デザートにパヴェ(ビスケットの重ね菓子)の4品を作りました。

スプーンで食べるワンプレートの食事で色とりどりの夏にぴったりの美味しい料理ができました。

参加者からも「元気が出るね」とうれしい声を聴くことができました。

◀夏にぴったりの料理でした

※次回は平成30年11月23日(金・祝)にタイ料理を予定しています。詳しくはお問合せください。

うるかむ to Iwakura!! Vol.8

第8回は、今年の4月から岩倉市のALT（外国語指導助手）として市内の小中学校で英語を教えている、モンゴル出身のトブウドルジ・エンフナラン（通称：エイミー）さんにお話を伺いました。彼女は、岩倉市中学生海外派遣事業で交流のある「新モンゴル高校」の卒業生です。

編集者（以下「編」）：モンゴル出身なのに、英語が堪能なのは何故？

エイミー（以下「エ」）：10年前、お父さんがアメリカの大学院に進学するために、家族でアメリカに住んでいました。英語しか通じない環境だったので、早く話せるようになりました。モンゴルに帰国してからも、忘れないように英語の勉強を頑張りました。

編：モンゴルの良いところを教えてください？

エ：モンゴルはどんどん発展している国ですが、文化や歴史、自然を守ろうとしています。

特に、モンゴルの自然は豊かで、毎年外国からたくさんの方がモンゴルの自然の美しさに触れるために来ています。天災もあまり無いので、住みやすい環境だと思います。

編：モンゴルと日本の学校の違いは感じる？

エ：モンゴルでは、挨拶をしなくても注意されません。例えば、食事の前に「いただきます」を言わなくてもです（笑）。モンゴルの学校では、挨拶より勉強第一！なので、日本のように挨拶の大切さを教えると、今より良くなっていくのではと思います。

編：モンゴルに帰った時に思わず出てしまう日本での癖はある？

エ：モンゴルで「エイミー！」と呼ばれても日本語で「はい！」と答えてしまう時があります。ずっと日本語と英語の生活なので、モンゴル語がなかなか出てこない時があります（笑）

編：エイミーの夢を聞かせてください。

エ：夢は、国際教育に貢献する人材になること、自分の英語のカリキュラムを作ることなどいろいろあります。

編：ありがとうございました。エイミーの夢が叶うように応援しています。



▲これからよろしくね、エイミー！

東小夢クラブのメンバーが日本語スピーチコンテストで優秀賞を獲得しました。

愛知県県民文化部社会活動推進課多文化共生推進室主催の外国人児童生徒等によるスピーチコンテストが開催され、小学生53人、中学生28人の応募者の中から、小学生10人、中学生5人が本選に選ばれ、8月25日（土）に愛知県図書館でコンテストが開催されました。

本選に出場した東小夢クラブのメンバーでもある高木摩耶さん（小6、フィリピン）が見事優秀賞を獲得しました。

スピーチのテーマは「大丈夫だよ。」将来の夢である医者になりたい理由、そしてそのために何を頑張らなくてはならないかを、日本語でスピーチしました。おめでとうございます！



▲大勢の前でも堂々とスピーチしました。

「日本語ひろば岩倉」を紹介します

毎週水曜日、午後7時半～9時、岩倉市生涯学習センターで外国人支援のための日本語教室「日本語ひろば岩倉」を開催しています。スタッフは全員ボランティアで、日本語を教えるプロという訳ではありませんが、毎週、様々な出身国の学習者とテキストで勉強をしたり、おしゃべりをしたりと、楽しく日本語を教えています。ご興味がある方は、一度お問い合わせください。

実施日：原則第1～4水曜日

時間：午後7時30分～9時

場所：生涯学習センター第3・4会議室 問合先：櫻井（090-8320-9591）

会員継続手続き及び新規会員申込手続きのご案内

事業は会員皆さまの会費と岩倉市国際交流事業補助金で運営されています。平成30年度も引き続き、会員継続手続きとして下記の口座へ会費のお振込みをお願いします。新規会員申込手続きについては、下記問合せ先にご連絡をお願いします。

会費振込先 いちい信用金庫愛北営業部 普通預金 1016300
口座名義人 岩倉市国際交流協会 内藤和子

会費 1口1,000円とし、会計年度ごとに個人会員（家族会員）は3口以上、高校生以下はジュニア会員として1口、団体会員は10口以上です。

問合先 内藤（0587-66-7347） 出野（0587-37-2495） 竹安（090-1230-2444）

会報 COM第96号（2018年9月1日） 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2（内藤方）
発行 岩倉市国際交流協会 TEL・FAX 0587-66-7347
印刷 大橋印刷所 <http://www.iies.info/>